

第6学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

- 1 主 題 相互理解、寛容B一(11)
- 2 資 料 名 「外国からの友だち」(ほほえみ)
- 3 ね ら い 様々な生活様式や文化をもつ外国にルーツをもつ人との出会いと交流を通して自他の違いを認め合う態度や豊かな人間関係を築くための態度、技能を身に付けさせる。
- 4 人権教育の内容 人間関係の活性化3一(2)一ア
- 5 展 開

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1 範読を聞く。</p> <p>2 場面を整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初めの「ずるい」という気持ちと終わりの「知りたい」という私の気持ちを確認しよう。 ○ 2人が仲良くなるきっかけは何だったのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語を書くのが苦手です。 ・ じゃあ、手伝うから、一緒に書いてみようよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料をゆっくり範読する。 ○ 挿絵、掲示物を示しながら、物語の内容を押さえる。
<p>3 話し合う。</p> <p>4 本時の学習をまとめ、ふり返りをする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>『一緒に書いてみよう』と言った時、私はどんな気持ちだったのだろう。』</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ かわいそう、苦労してたんだな。 ・ 一緒に書いたら書けるかな。 ○ なぜ「謝りたい気持ち」と「何かがずっと消えていくような気持ち」になったのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ずるいと思っていたことを反省したから。 ・ 違いに気が付いたから。 ○ 「様々な気持ち」とは、どのような気持ちだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかった。 ・ もっと仲良くなりたい。 ・ もっと知りたい。 ・ 日本の文化も伝えたい。 ○ 仲良くなるために、大切なことは何だろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関心を持つこと。 ・ 話をする事。 ・ 気持ちを伝えること。 ・ 自分のことを知ってもらうこと。 ○ 授業で考えたことを書きましよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私が誤解していたことに気付かせる。 ○ 相手を理解しようとする気持ちが芽生えたことに気付かせる。 ○ 児童の発言からねらいに迫る発言には問い返しをする。 ○ 補助発問を通して、道徳的価値を深く考えさせる。 ○ 余韻をもって終わらせる。

[別紙②]

グループ討議



板書



児童のふり返し

○授業を通して考えたり、新しく気づいたりしたこと
を書こう。

さやかキスは、最初はリリーナスに話
かけられなかったけど、ペアワークの時
に勇気を出して話せたのです
ごい田心いきました。同じ体験をす
るごいっしょに楽しめると、仲良くな
れるのがいいなと思いました。
そして仲良くなるには勇気を出
して話すことがいいんだなと思えました。

○授業を通して考えたり、新しく気づいたりしたこと
を書こう。

初の、苦手な相手、生まれた国や文
化がちがって話しかけたり、相手と思っ
合えば友達になれるとあらためて分かり
ました。

○授業を通して考えたり、新しく気づいたりしたこと
を書こう。

初めはきまりがあった二人だけれども、おた
がい勇気を出して話しかけるだけで、
知り合うことができ、仲の良い友だちに
なれることができたので、勇気ですごい
なと思いました。

○授業を通して考えたり、新しく気づいたりしたこと
を書こう。